

期間 自八月八日——至十日  
 主催 社民黨仙臺支部  
 場所 仙臺市  
 講師 赤松克廣、木村盛、松下芳男、阿部  
 温知、鈴木文治  
 聴講者 四十名

▽東京第五支部  
 期間 自八月九日——至十六日  
 主催 社民黨東京第五支部淀橋分會  
 場所 府下淀橋町  
 聴講者 約二百名

▽九州民衆政治學校  
 主催 九州支部聯合會  
 場所 八幡市官業労働同志會講堂  
 講師及課目 社會思想解説(龜井貫一郎) 經濟學  
 (原彪) 重要產業論(原彪) 金解禁  
 論(小池四郎) 階級論(小池四郎)  
 自治制論(川原次吉郎) 英國労働黨  
 發達史(龜井貫一郎) 社會運動指導  
 理論(赤松克廣)  
 學生 二百二十九名

▽東信支部

期間 自十月五日——至十日  
 場所 土田市  
 講師 小山壽夫、阿部茂夫、原 彪、笠置  
 進、松下芳男  
 聴講者 一百名  
 以上

#### 4. 調査部報告

過去一ケ年間に於ける社會民衆黨の活動が、實際的に具體化したると共に調査も徒らに抽象論に走ること許さなかつた。然も議論の研究を經過して各論に入るの必要を痛切に感ずるに至らした。従て調査部は之に伴ふ組織の充實が最も緊急なりしには相違なかつたが、幸にして本部及支部諸君の熱心なる研究と援助及社會民衆黨系の内外社會問題調査所の應援とによりて、其實を全ふするに大過なかつたことは感謝に堪へぬ所である。然しながら將來調査部の事業は益々深遠を行き廣汎に亘ることを覺悟し、其組織の完備を期しなればならぬ。

第五十六議會は始めての通常議會にして社會民

衆黨の主義主張を具體化する最初の議會であつた。而して我黨の重要政策の一たる労働組合法は他に率先して進歩的法案を作成し、議會に提出することを得たのである。又選挙法の改正法律案、派員保險法案の改正案、健康保險法の改正法律案等本部、組合及支部の援助及賛成によりて調査部を指導せられたるもの決して少しとしない。

東京市會議員の最初の普選は本年の春に行はれたるが、之に對して政策の作成に従事し東京新市會の東京瓦斯株式會社に對するガズ爭議に付ては會社の内狀隠蔽の調査書を完成し、調査部自ら闘争に参加して戦術の研究を得たるは其副産物であつた。

東京區會議員の選挙政策に對しても原案を作成した。之によりて總ての議員選挙即道府縣會議員選挙、衆議院議員選挙、町村會議員選挙及市區會議員選挙を通じて政策の作成に關與し、こゝに第一期の選挙政策の作成を終つたのである。然しながら顧みれば政策にして改正すべきもの多々存在し更に現實に付きて研究を要するもの少くない。殊に政策實現の可能性強くなるに従て其理想を追

ふの心を以て選挙とすることを得なくなつた。

来るべき第五十七議會に對しては國より調査部の努力を要するものが多い。小作法原案は漸くにして作成せられた。相続税法の改正法律案も作成しなればならぬ。失業保險法の制定、曰く何、調査部をして徒らに焦燥せしめて居るのである。

#### 5. 機關紙部報告

前年度大會に依つて決定された主旨に基き、機關紙部は約一鏡に値する月一回の四頁新聞を發行し、各支部を通じて全國黨員に無料で配布した。最初五號迄は小型四頁であつたが黨費完納黨員も漸次増加し、約四倍の發行部數に達したので従つて印刷費も比較的低廉で出来る關係上種々なる困難を押し切り、大型四頁大に変更し今日に到つてゐる。

新聞の費用は黨費の中から支出される筈のものであるが、支部の黨費納入成績不充分の爲、常に財政的危機に遭遇しつゝ定期一回の發行は實に苦難其のものでなければならなかつた。こうした可